

1. 研修日時: 令和7年6月5日(木)~7日(土)
2. 開催場所: 臨床教育研修センター・シュミレーションセンター
3. 研修参加者: 17名
4. アンケート回収人数: 16名(有効回答率94.1%)
5. アンケート結果

①講義1~7についてお気づきの点がありましたら入力してください

特になし: 他3名

講義4は難しかった

eラーニングより、直接聞いた方がやはりいいですね。長くなるのが難点ですが。

全体を通して知識の再確認や理解を深められた講義でした

聞き逃し配信が受講生限定で1週間くらいあるといいなー

eラーニングより対面の講義形式のほうが内容が記憶に残りやすいと思った

全て素晴らしい講義でした

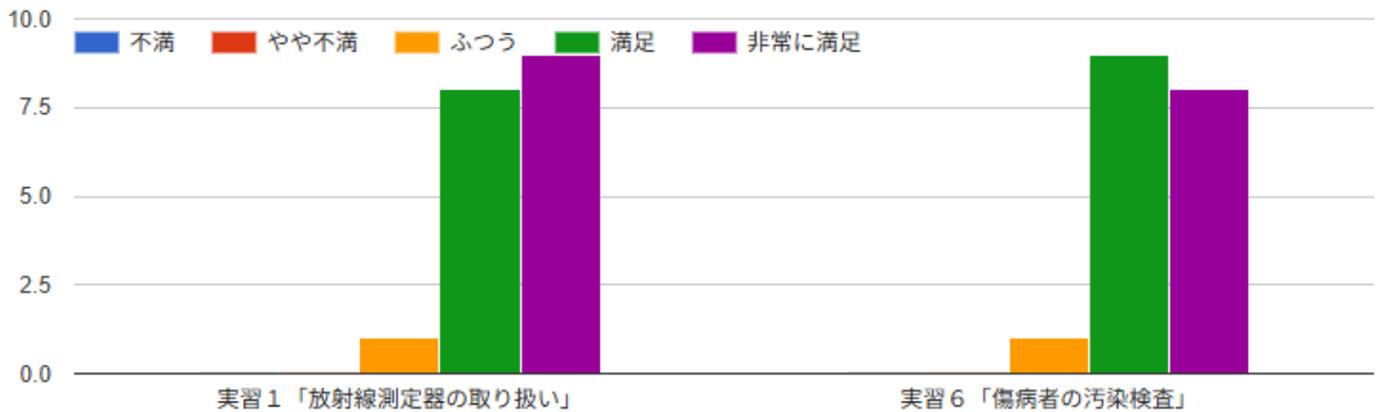
どの講師の先生の講義も、分かりやすかったです

対面は今回で最後という事ですが、WEBよりも対面で受講出来て理解度が深まった気がします

とても勉強になった

丁寧に説明いただいて分かりやすかった

②1日目の実習1・6についてお答えください



(1) 実習1「放射線測定器の取り扱い」についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし: 他3名

測定器について、個体差とかはないのですか?

難しいが実技でわかりやすく教えていただいた

あやふやになっていた所が再度確認できたので、改めて復習出来てよかったです

実際に触れてみる機会も少ないのでいい経験でした

「なぜこうなる」がわかりやすかった

聞いたことが実践で体験できるのでよかったです

3秒と10秒... 3倍の時間...

時定数がなんとなくわかる程度でしたが、きちんと理解することができました

実際の測定器を操作しながら、落ち着いた環境で学びました

時定数の秒数分だけ測定値が遅れる事が理解できました

放射線測定器、放射線の特性について理解を深める機会になったと思う（特に技師以外のスタッフ）

初めて触れるもので難しかった

(2) 実習6「傷病者の汚染検査」についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他4名

実技で理解できた

技師の方に詳しく教えていただきました

サーベイの速度など実際にやってみてわかる難しさがあった

汚染が疑われる部位に近づいた時の範囲の把握や、数値の読み取り方が分かりやすかった

GMサーベイメーターは放射線技師さんだけでなく、看護師も適切に使用できるように定期的な訓練が必要だと感じました

慣れるまでは1人にかかる測定時間が長くなって、測定される側(傷病者)も大変だという事が理解できました

実習1で測定器の扱い方を学んで、実際にファントムの放射線の測定を行った。人を測定するならこれぐらいのスピードで～というようなHow toを先生方に実演していただいてからの方が型が身につく気がした。実際に自分たちで考えてやるということも大事なことは理解しているが

③特別講義について学びや感想などがありましたら入力ください

震災当時の、現場の温度感等をお聞きすることができた。ダブルスタンダードの考え方、ALARAとSAHARAなど、平時と災害時の考え方についても勉強ができました。

林先生のお話はいつもいつも楽しく、本当にわかりやすいです

あのようなスライド作りを学びたいです！

実際の状況がわかりやすく、現場の心理的なことも理解につながった。楽しい講義だった

設問付きだったので、楽しく学びました

震災の実際が知れてよかったです

東日本の際の実際の状況が聞いてよかったです

林先生の講義を久しぶりに聞いてよかったです

経験談が聞けるのは本当にありがたい

現場活動がイメージしやすくなる

実際の活動の経験からイメージできてよかったです

先生のお話が面白く、上手であったという間に講義が終わっていました。大変勉強になりました

最前線で活躍された林先生のお話が聞いて大変勉強になりました

大変興味深かったです

実際に現場に派遣された林先生たちのチームのお話を聞いてありがたかった

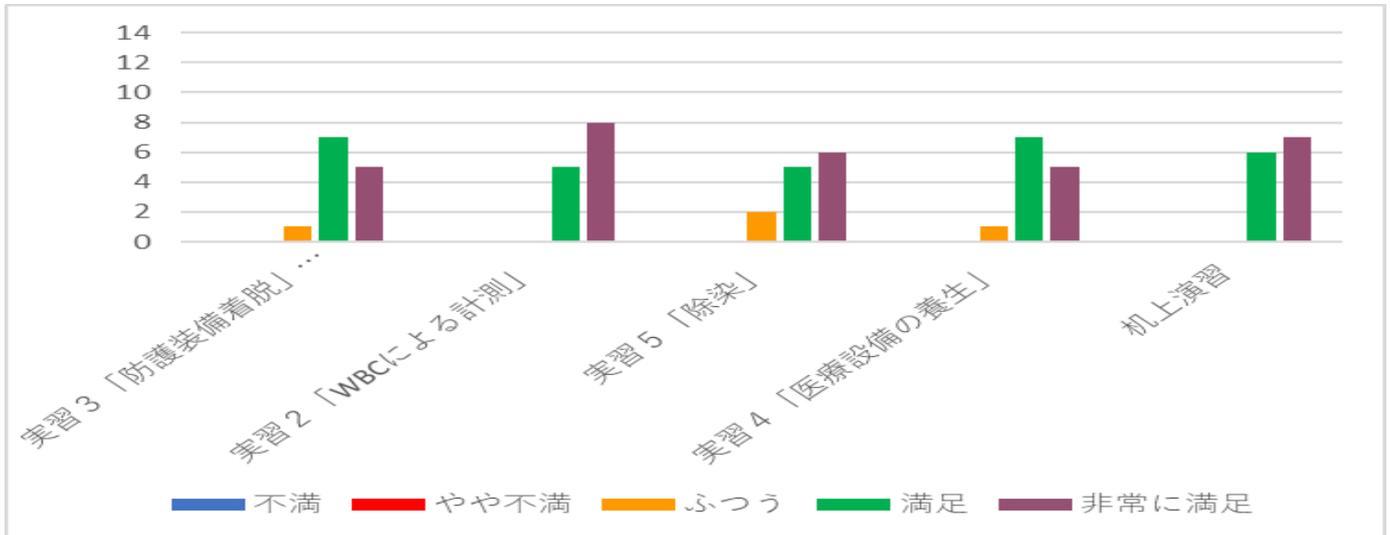
とても有意義な講義でした。重要なメッセージだと思いました。以前と変わらず、とても楽しいスライドありがとうございました

災害地でのリアルな医療状態を知る事が出来てとても興味深い講義でした

震災当時、原子力災害のリアルな空気感を感じることができた。平時・災害時のダブルスタンダードの考え

方、正しくビビる・ビビらないなどの考え方などは施設に持ち帰ってスタッフ間でぜひ共有したい話だった
 実際の現場の状況を知ることができた
 現場目線、体験が知ることができてよかった
 実際の活動内容を知れて良かった

④ 2日目の実習3・2・5・4・机上訓練についてお答えください（この項目のみ有効回答13名：76.4%）



(1) 実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他3名

コロナの時に、他職種に教えることをやっていましたが、忘れてることも多くて、再認識させていただきました

施設でされている工夫、曇り止めや職種別のカラーテープなど自施設で活かせる参考になる内容が多かった
 以前にも一度やったことがあります、ほぼ忘れてました。やはり、ある一定期間ごとの研修は必要なのだなと感じました

タイベック着脱は何回かやったことはあったが、改めてやると順番や気をつける点など抜けていることが多く、再確認できてよかった

自分の施設ではなかなか訓練でタイベックスを着ることができない（ストックに限りがある）ので、実際の体験は貴重でした

良い経験ができました

職種別のカラーテープの使用は初めて知りましたが、分かりやすかったです

脱衣の順番が間違えそうで、テキストにより何度も確認します

満足 特にありません

着脱するのも1人では難しいと学んだ

(2) 実習2「WBCによる計測」についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他4名

計算が難しかったです

実際に測定体験が有意義だった。計算は苦手だったがわかりやすく教えていただいた

立位型のものを初めて見ました

ずっと玄関の前に停まっているトラックがあるな？とおもっていたら、WBCの車であるとは、驚きました
 機会はあるが実際に測定しついる場面を見たことがなかった。体験できたことは患者にも具体的に説明がで

きるのでよかった

WBCの実物を初めてみました

体験させていただいたことも良い経験となりました

また、内部被ばく線量の計算は、難しいこと事であるのに、理解できるように教えていただきました

内部被ばくの算出が理解できました

満足 特にありません

(2) 実習5「除染」についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他3名

消防学校で教官をしていた時に特殊災害課程という教育の助教をして、除染のイロハは覚えていたつもりですが、またブラシュアップさせていただきました

塗料で目に見えて体験させていただいて良かった

聞いた話で聞いているのと実際やるのとでは違うのだと感じました

創部洗浄も水の垂れやすい方向など考えて場を整える必要があり、工夫が必要だと思った

慎重にやってもどこかに付着する

簡単にみえて難しい

技師には馴染みのない行為で、とても難しく感じました。一方で、強烈に刺激を受けました

理解しやすかったです

除染に関しては、放射線技師が行なう事は殆ど無いと思いますが、汚染の範囲をサーベイメータで正確に決定する事の重要性を再確認できました

満足 特にありません

汚染範囲を拡大させないための除染が難しかった

(4) 実習4「医療設備の養生」についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他4名

みんなでいろいろ考えて協力して実践できて良かった

これこそ、もっと綺麗に作れると過信してました。おわたたら、小学生の工作（言い過ぎ？）かと思いました

普段、他職種に任せがちになっている部分なので実際にどうやっているか知れて良かった

いつも事務職員に全てお願いしていたので、大変さが分かった！

これまで、コード類には、傘袋の端を切って使用していましたが、筒状の長い袋が使用しやすかったです
エステクトシートの存在も初めて知りました

養生は時間がかかるので、実施可能な多職種が参加できるようにしたいと思います

ホットとコールド 広すぎず狭すぎず

養生する範囲を決定できるよう全職種の意見を聞いてスピーディーに行えたら良いと思いました

満足 施設によって考え方ややり方があるのだと理解しているが、warm zone を設ける・設けないについて、先生方の意見を聞きたかった（アンケート記載時に思い出した）

様々な物品が必要であると学んだ

(5) 机上演習についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他3名

机上演習は面白いです！

チームビルディングから翌日のシミュレーションにつながっていて、大変有意義でした

苦労しました

お題が多かったので、書記→司会→発表と3回する羽目になりました。その分、気づきも多かったような気がします

CSCAに沿った立ち上げやクロノロなど、DMATの知識が役に立ってよかった

他職種のメンバーで話し合うことで、お互いの専門性を引き出し、共有できるので大切でと思った

多職種が討論する素晴らしい機会だったと思います。一方で、私自身の災害医療に対する知識が乏しく、話についていけない場面があり、勉強不足を痛感致しました。

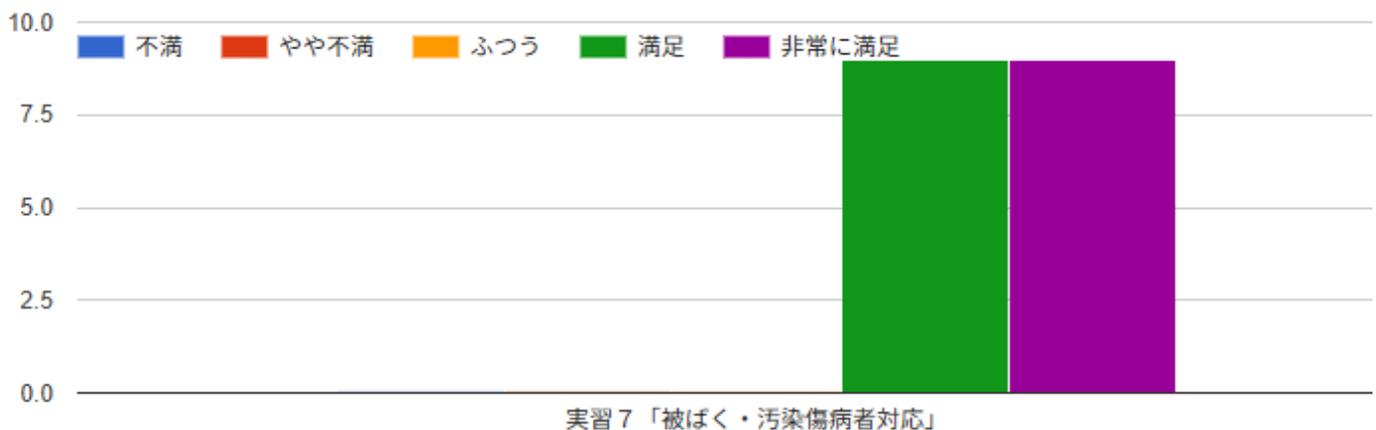
グループ内で色々な意見が出て、勉強になりました

机上演習に関しては色々な職種で討論出来て有意義でしたが、なかなか自分の意見が言い出せなかったので自分の今後の課題として意識していきます

満足 講義・実習の内容を総合的に振り返り・実践できる良い機会であった

グループで意見を出し合って学びになった

⑤ 3日目の実習7についてお答えください



(1) 実習7「被ばく・汚染傷病者対応」についてお気づきの点がありましたら入力ください

特になし：他4名

外回りが本当に俯瞰的に全体を見渡せるので、今後はもっと声出していきます！

実際やってみるむずかしさを感じたが、いい経験ができた

Bチームであったので、後攻でAチームのものを見ていたにもかかわらず、満足に出来なかったことが残念ではありません

実際に模擬患者さんで実習できて、やる前に考えていたよりも、患者対応含めてやることや気にかけることが多く良い経験が出来た実習でした

分かっているにもかかわらずなかなかできない

ファシリテーターの方の助言がありがたいと思った

お手本みたいに動画か実践でも良いので見てから、シナリオを経験してみるといろいろ考えたりできるかなとも思った

この経験が必ず役に立つと思いました

大きな混乱がなく、ひとつひとつ確認しながら実施できていたと思います

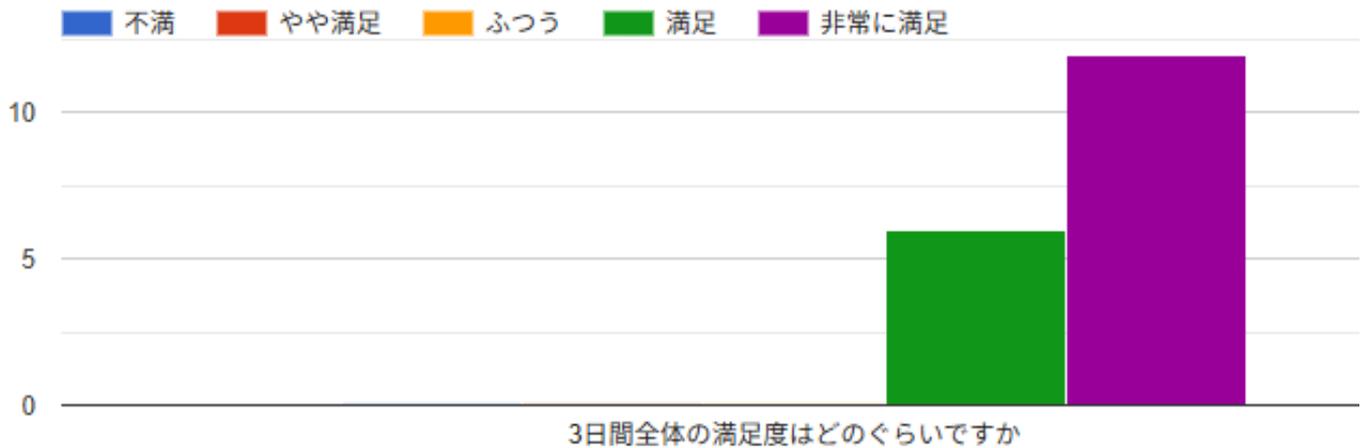
最初の導入が分かりやすかったです

検体の取り扱いに関する講義が無かったので、e-learning でもよいので、簡単にレクチャーがあるとよいと思いました

放射線技師としてホットゾーンでの測定業務しかした事がなかったので、外回りの作業で今自分は何をしたら良いのか考えて動作が止まったりして、不本意な結果で終わってしまいました。とても良い体験ができたと思っています。今年の病院での訓練では、声を掛け合ったり周囲の業務にも目を向けてたりして傷病者対応を行って行けそうです

ゾーニングと情報共有のためのコミュニケーションが難しいことが分かって学びになった

⑥ 研修全体についてお答えください



(1) 本研修の感想をお聞かせください

技師が原子力災害にどのように関わっていくか、実際に何をやるべきかということの解像度が研修を経て高くなったように思います。今後自施設でのマニュアルや体制の整備、中核人材研修以降の研修会など積極的に取り組んでいきたいと思うよい動機づけになりました

ありがとうございました

初めて原子力に特化した研修を受研させていただきました

また忘れないように機械の取り扱い等の習熟度をあげていきたいとおもいます！

研修の満足度は全て非常に満足です！！！！

被ばく医療は難しいと思い込んで取り組んでしまっているが、今回わかりやすく工夫いただいている、楽しく学ぶことができた

ありがとうございました

大変楽しく実習ができました。ただ、自分が他の方達よりイマイチであったのが悔やまれます

みなさんすぐに順応して羨ましく感じました。3日間ありがとうございました

周りが若いひとばかりなので、私のような年配は少し浮いているような感じがしました。そう感じるが故に皆さんとコミュニケーションを上手く取れなかった事が悔やまれます。ありがとうございました

講師の方々は大変楽しい方達ばかりでした

講義で再確認できた知識を実習で深められてよかったです

研修を通して特に不満はありませんでした

送迎バスを出していただけたたり、お弁当もたすかりました

会場も良かったです

実際の活動の時も考慮して（顔繋がりをもつこと）近隣の開催地での研修を病院から勧められていたことや、福井は初めてだったので不安もありましたが、講師のみなさん、スタッフのみなさんのサポートか受け

られて終了できた

福井大学での研修を選んでよかったです

講師やファシリテーターをはじめ、スタッフの方が丁寧に説明してくださったのでとても分かりやすかった
大変勉強になりました。福井大学の皆様のホスピタリティに心から感謝申し上げます。三年後の更新も福井
大学に行きたいと心から思っています。ありがとうございました

講師の皆さんどなたも親切に対応していただき、3日間楽しく受講できました。ありがとうございました
すべての項目が非常に満足です

講義の中で出てきた「絶対にケンカしない」という考え方が、平時はもちろんですが、災害時の混乱や不安
がある中では、とても重要だと感じました。チームを構成する多職種、それぞれの職種の立場や専門性を持
つ分野など、お互いに相手を理解し尊重することが、安全で良い医療やケアに繋がると感じます

研修を担当してくださったみなさま、大変お世話になりありがとうございました。また福井大学で研修を受
けたいと思います。とても有意義な3日間でした。各講師ならびにスタッフのみなさんに感謝いたします

3日間は長かったです。僕自身はあまり積極的ではありませんが、多職種でチームを組んだり、今後のつなが
りを重視するのであれば懇親会はあってもよかったですと思いました。主催者が毎回参加するのは無理なので、
セッティングだけでもしていただけるとよいのかと思いました

3日間とても面白く、長かったという思いは全くありませんでした。地域の拠点病院として、自分の病院での
原子力災害担当者がもっと増えるよう提案してみます。あと、福井県で行われるので、参加者は北陸の方ば
かりと思い込んでいました

座学の際は先生方の実際の体験・経験を交えながら、また実習の時はこういったケースではこの方法で～な
ど、講義・実習資料以外の話をお伺いでき勉強になりました。実際に自施設のマニュアルにこの研修で学んだ
ことを落とし込む、改訂していく、トレーニングを行なっていくことになると思うのだが、大筋さえ外さな
ければダメなことはないことも理解した上で取り組んでいきたい。先生のリップサービスかもしれないが、
技師に期待しているということを繰り返しお話ししてくださり、今後の研修会や自施設でのトレーニング等
に率先して取り組んでいきたいと思う良い動機づけになりました

とても有意義な時間を過ごせました

非常にためになり充実した研修だった

被ばく医療について少しでも知識をつけることが出来て良かった

以上

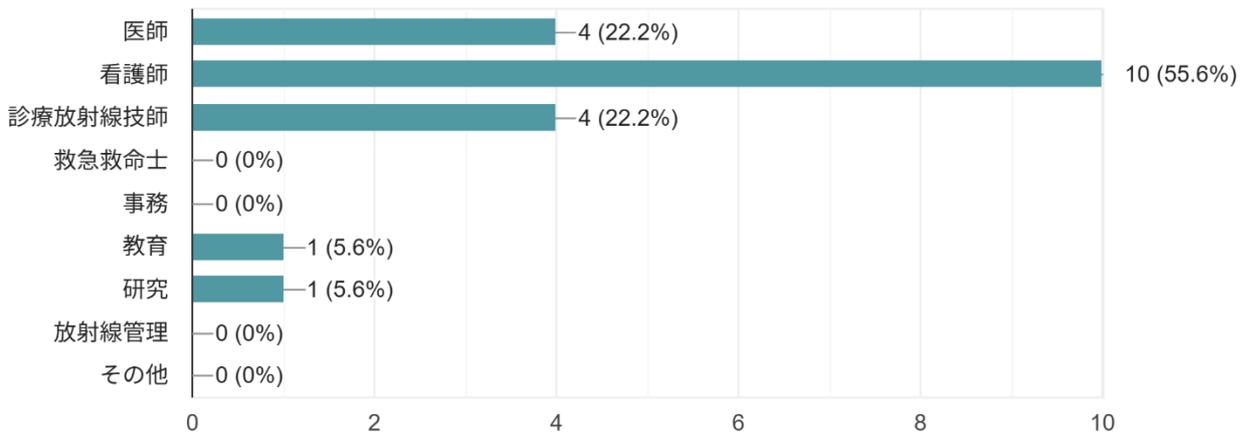
第1回中核人材研修（福井大学） R7.6.5～6.7 振り返りのまとめ

	スタッフ振り返り・意見	オブザーバーご意見	話し合った内容・改善点
講義	特になし	特になし	・次回からはeラーニングを使用していく。
実習1	特になし	・進め方は、各グループの補助講師に任せているのかもしれませんが、グループによってやり方が少し異なるかなと思う場面がありました。 (私の勘違いでしたら、ごめんなさい)	・次回以降、実習毎で担当で打ち合わせを行う予定。
実習2	特になし	・WBCを実際にみる機会が少ないと思うので、時間に余裕もあったので、測定者の体験を何名かおこなってもよかったですかと思いました。	・新宮建物に移動後は、移動時間も少なくなるためWBCの受講生の体験人数を増やすことも検討。
実習3	・タイベックを着脱する時のデモンストレーターがいると良い。 ・チャックを上まで上げ切れていない受講生がおり説明が必要。 ・配置が後ろから教えることになると、できているのかどうか、見えないところがあった。 ・協力員と研修の中身を詰める時間を持つと良いかもしれない。 ・タイベックスを着用した後に、時間があつたので活動してみるなどしても良かった。	特になし	・以前はデモンストレーターと一緒に説明を行っていたが、どちらを見れば良いのか分からないなどの意見もあり取りやめた経緯がある。再度話し合いの結果、今年度はデモンストレーターは無しとし、受講生は説明を聞きモニターを確認してもらうことに決定。 ・講師補助が受講生の着用状況を確認できない配置であったため、実習配置の検討が必要。新宮建物に移転後、実施場所が研修室3、4を想定しており、再度配置を検討する。(コの字型でテーブルをくっつけない配置、もしくは、1Fホールで1列に受講生を配置し、補助講師を含めた講師を前に配置する案を検討) ・タイベックスを着用してもらったあと活動する時間を設ける。(階段を昇降するなど) ・研修毎の担当者打ち合わせを行う。
実習4	・講義形式で行う事を想定しておらず、当日実習資料を探すためにバタついた。	・床や壁の養生を始める前にゾーニングを考えてからおこなったのか、確認できませんでした。(考えていたら、ごめんなさい)	・実習資料を用意しておく。事前に講師に細部まで確認を行う。 ・講義形式でゾーニングに関して導入を行っていたが、実際の場所でゾーニングについても触れていく。
実習5	・ブラックライトを購入してほしい。	特になし	・今後、ブラックライトを2本程購入していく。
実習6	・腋の下など汚染箇所を増やした。腋の下など汚染箇所が分かりづらいところの測定の仕方を伝えていけるように今後もブラッシュアップしたい。	・グループについている補助講師が説明して、それぞれ進めていたので、グループによって指導方法/内容が少し異なっているように思いました。 また、汚染検査の順番を考えてもらえるよう、創傷部があるとよいかと思いました。(私の見落としでしたら、ごめんなさい)	・補助講師が共通した指導が行えるように、虎の巻を作成しているが、もう少し細かいところまで記載するなどブラッシュアップを検討する。 ・スライドを使用して、汚染検査の注意点を最初に説明していく。 ・創傷部を作成し、汚染検査の順番も意識してもらうようにする。
実習7	・プレイヤーではないチェッカー役の受講生にビブスを着用してもらうことで、受講生の役割りが分かりやすく良かった。 ・看護師として生活者としての説明などの指導を行っていきたい。 ・机上演習のホワイトボードをそのまま使用していくのは有用だと思った。 ・受講生が除去まですることで、養生したものを剥がすことも大変だと実感できたのは良かった。 ・どういことを、どのタイミングで指導するのが良いのか難しかった。口を出していいのか気づかせることが良いのか見極めが難しかった。	・1グループが実施、もう1グループが評価していたので、フィードバックのときに評価した内容を共有できるとよいと思いました。 ホットからコールドに物を持ち出すときの汚染検査が十分ではなかったように思いました。	・受講生の役割りが分かるように、ビブスは継続していく。 ・症例1は時間が超過する傾向にあり、振り返りの時間を確保できていない。その為症例1は養生の除去は実施せず、振り返りの時間を確保する。また講師に、補助講師や受講生からも振り返りをもらうようお願いしておく。 ・検体などの汚染区域から非汚染区域への持ち出しに関して、実習5の除染の際にどのようにするか触れる。また、高度人材にどのようにする方法が良いのか確認を行い実施方法を固めていく。 (採血に関してはシリンジで採血する方法も検討)
机上演習	特になし	・机上演習で考える際に必要な知識を講義の中でしっかり伝えていただくと机上演習の進行がよりよくなると思いました。	・講義の最初に目的を提示することなど検討する。
その他、研修全体を通しての感想	・受けの実施方法を、受講生の席に書類関係を置き、手続きなどについてまとめて受講生に説明を行うように変更を行った。その為受けが込み合うことは無く整然としており、今後もこの方法で実施していきたい。 ・全体会を職種別に実施したことはポイントを伝えやすく良かった。 ・協力員にテキストの変更点などを事前に伝えておく必要があった。	・初日の講師の自己紹介、とてもよいと思います。(参考にさせていただきます。)お茶のサービス、ありがとうございます。水分をしっかり摂取していただくためにも、とてもよいと思います。(参考にさせていただきます)講師のみならず、全体に活気があって、雰囲気がとてもよかったです。	・受けの実施方法は継続する ・職種ごとの打ち合わせを行う時に、テキストの変更点なども伝えていく。 ・新宮建物移転後は場所の確認も必要であり、職種別で打ち合わせも行うが、実習毎でも打ち合わせを実施する(虎の巻の読み合わせを検討する)。

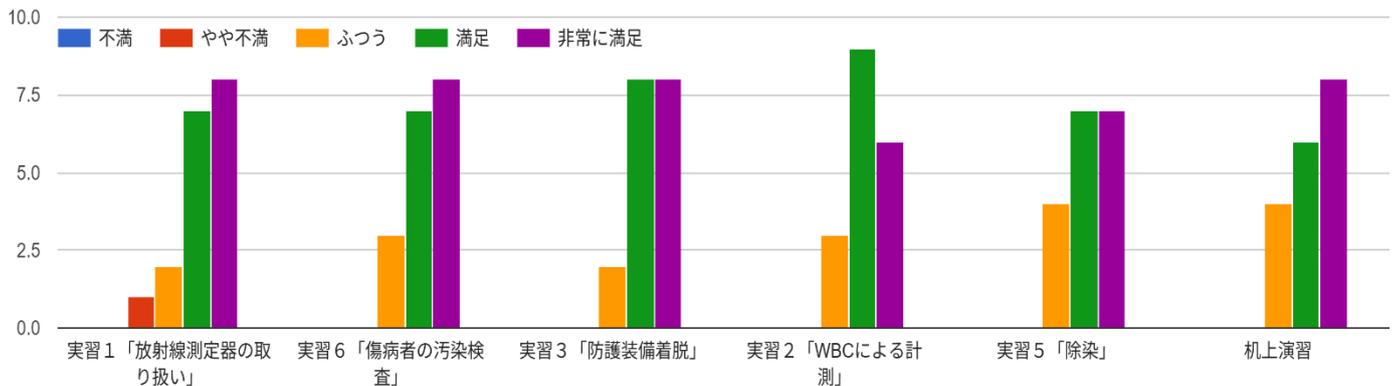
1. 研修日時：令和7年10月3日(金)～4日(土)
2. 開催場所：高度被ばく医療支援センター
3. 研修参加者：21名
4. アンケート回収人数：18名(有効回答率85.7%)
5. アンケート結果

①参加者：職種別について

18件の回答



②1日目の実習1・6・3・2・5・机上演習についてお答えください



③実習1「放射線測定器の取り扱い」についてお気づきの点がありましたら入力ください

・特になし

・丁寧に教えていただいたのでよかったです

・距離を計測するスケールが素晴らしいです。

・わかりやすく楽しかったです

・最初に具体的な器具の取り扱い方のデモなどを見せて頂けると、もっとわかりやすかったです。

・普段使い慣れていない機器の扱いが難しかった

・なし

・泉先生は専門家で理解している知識を言葉にするのは簡単と思いますが、皆さん理解できたのか不安です。あまりにも盛り沢山の情報を口頭のみでの説明では理解できない可能性があると思います。ほとんど

の方が素人で、特に看護師さんは苦手な方が多いので、説明に工夫が必要と思います。もっと動画なども駆使して、ど素人（小学生程度）に説明する工夫も検討されては如何でしょうか？

- ・もう少し時間があっても良かったかなと思いました。
- ・良くわかりました
- ・テーブルに付いていただいた方が非常に丁寧に教えてくださいました。
- ・何回も受けたことありますが、難しい内容なのですが今回の講習が1番わかりやすかったです！
- ・自分の理解力不足はありますが、最初にどれくらいの線量がどれくらい人体に影響があるかと言う部分のおさらいがあると、全日の研修を通して理解しやすいのかなと思いました。
- ・たくさんの実習器材があり分かりやすかったです。
- ・班に放射線の方がおられてわかりやすく教えていただけてありがたかったのですがやはり聞きなれない専門外分野で1人でとなると自信がありません
- ・マイクでの説明ではなかったので聞き取りにくかった。初めて触るものなのでもう少し時間は欲しかった。グループ内に放射線技師さんが居て詳しく説系を追加してくれたので安心した。

④実習6「傷病者の汚染検査」についてお気づきの点がありましたら入力ください

- ・特になし（他3名）
- ・測定器をもちながら記録するのは大変なので2人1組でできて、よかったです
- ・分かりやすい説明でした。
- ・実際の測定方法を知ることができました
- ・特にございません。
- ・汚染箇所を探すのが難しかったです。検査する方はかなり疲労すると思います。
- ・測定器の取り扱いが理解できていれば問題ありませんが。汚染検査には大きく3つも目的があります。
1. 汚染箇所を見つける. 2. 汚染の範囲を確認（明確に）する. 3. 汚染の量（線量率）を正しく測る.
と思いますが、この点が明確にされていませんでした。ご検討されては如何でしょうか？
- ・良かったと思います
- ・よくわかりました
- ・GM検査できて良かった！
- ・モデルを使って実際に汚染部位を探す作業はとても楽しかったです。
- ・時間がタイトでしたが実施できてよかったです。
- ・限られた時間で緊張を持って取り組みましたが実際の時にはさらに緊迫した状況下であることが予測されスムーズにできるか自信がないです

⑤実習3「防護装備着脱」についてお気づきの点がありましたら入力ください

- ・特になし（他2名）
- ・着脱に時間がかかるのでもう少しゆっくりできたらよかったですと思いました
- ・テープの色で職種を分けるのはいいと思いました。
- ・少し場所が狭かったですが、声がよく聞こえたので、良かったと思います
- ・非常に勉強になりました。
- ・曇り止めはよかったです。自施設でも取り入れたいと思いました。
- ・デモを行ってもよいかもしれませんね。防護衣の着脱に関しては各センターで作法が異なるので、評価が難しいです。自身が汚染しないことと、汚染を拡散させないことを理解して頂ければよいと思います。
- ・良かったと思います

- ・よくわかりました
- ・非常にわかりやすかったです
- ・曇り止めナイスアイデアだと思いました。
- ・タイベック何回か着たことはありますが、着脱にはなれないのでとても良かったです。
- ・バージョンアップされているのがわかりました。
- ・アドバイスを受けながら着脱できて良かったです。実際となると正しい順序で取り扱えるか 何度も練習することが大切なのではと感じました

⑥実習2「WBCによる計測」についてお気づきの点がありましたら入力ください

- ・特になし（他4名）
- ・全員が体験できたらよかったですと思います
- ・WBCのデータで線量の計算をしてもらうのはいいと思いました。
- ・実際に測定を見せてもらえて勉強になりました
- ・侵襲が少なく、短時間で結果がでる検査であるが、臥床してするWBCは、検者にとつたらかなり恐怖心が強いと感じました。
- ・説明、計算など特に問題なかったと思います。素晴らしい装置が見学でき一つの目的を達成できました。
- ・実際に装置を見れて良かったです。
- ・大きな機械を実際見ることができて良かったです。
- ・実際にWBCに入って計測するときの注意点、汚染だけでなく配慮する点があれば教えていただきたいかったです。検査時動かないや閉塞感に対する配慮など、、、
- ・WBC実機で研修が出来て良かったです。操作研修も出来れば良かったです。
- ・専門外の体験ができて貴重な時間でした

⑦実習5「除染」についてお気づきの点がありましたら入力ください

- ・特になし（他4名）
- ・他の研修生と協力しながらできた 実際に経験できたので良かったです
- ・分かりやすい説明でした。
- ・使用するものの紹介がなかったので、わかっている人がすすめて行ってしまった感じがあった印象ですがもう少しだけお時間が頂けると、もっとじっくりできたかなと思います。
- ・以外に指先などに汚染してしまい、手袋の交換の重要性がわかりました。
- ・この作業も、各センターで作法が異なるので評価は難しいと思います。汚染を広げず除染効果が高い方法を教えることが大切だと思います。もう一点、流水除染では思ったほど除染効果がないことも知って頂けるとよいと思います。
- ・良かったですと思います
- ・よくわかりました
- ・実際に傷周りの養生をやってみて、ブルーライトで見るのは良かったです！
- ・分かりやすい指導で除染の方法や注意が理解できました。
- ・限られた資機材で効率よく被曝や安全に留意し手際良く尚且つ患者さんに尊厳を持って関わる難しい
- ・簡単に当たり前の処置にも時間や労力があることを実感しました

⑧机上演習についてお気づきの点がありましたら入力ください

- ・特になし（他1名）

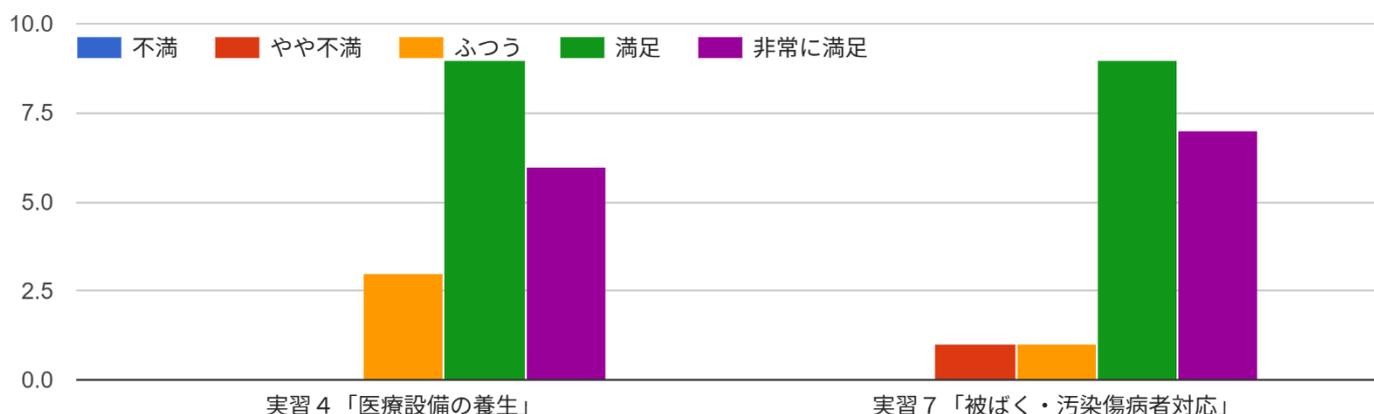
- ・実際の災害時の流れなどがわかった。また他の研修生と話し合いができたので知らないことやわからないことを知ることができました
- ・クロノロの書き方など DMAT の初学者にも分かりやすい演習で良いと思いました。
- ・同じチームによくわかってらっしゃる方がいて、とても頼りになる反面、これが正解、という提示もあり、グループワークとしては活発な話し合いに至らなかったかもしれません。
- ・特にごさいません、勉強になりました。
- ・自分一人では考えられないことも、グループで様々な意見が出てとても勉強になりました。2 日目の実習にも関連しており、順序立てた対応に役立ちました。
- ・グループで意見を出し合ったことはとても良かった。新しい知識の習得や学びにつながりました。
- ・小淵先生進行がとてもよかったです。スムーズでした。
- ・かなり知識豊富な方もいらした事が、質疑応答に関して一長一短あると感じた。
- ・有用でした
- ・1 グループの人数が多すぎるかな～と思いました！
- ・CSCATTT で実働するとしたらその知識提供があればよかったと思います。慣れていない人が数名いて少々お困りのようでした。
- ・チームでいろいろなお話が出来て勉強になりました。
- ・大がかりな演習 福井は原発を複数有しているのととりくみに真剣であり進んでいると感じました またわかりやすく流れがつかめました
- ・DMAT などを経験している方が多く、専門的な話が聞けて良かったが聞きなれない言葉が多く戸惑った。

⑨特別講義について学びや感想などがありましたら入力ください

- ・災害現場での経験話を聞くことができたのでとてもよかったです
- ・福島のために多くの方々が汗をかいて頂いたことに本当に感謝しています。
- ・特になし
- ・DMAT で東日本大震災翌日から現地に入りましたが、福島での出来事や対応を聞かせていただいて勉強になりました。
- ・予備校時代に鹿児島で講演を聴き、医師を目指すきっかけとなった林先生にまたお会いすることができ感無量でした。ありがとうございました。
- ・林先生のご講義はとてもおもしろいお話で、非常にためになりました。ぜひまたお話を伺いたいと思いました。
- ・自然災害は私達の予想をはるかに超えること、そのため臨機応変に対応することを学んだ。また、支援者のメンタルヘルスが大事であることを学んだ。
- ・原子力に対しての興味が高まった。実際にどのような現場であったのかをわかりやすく伝えてくださったのでイメージが付きやすかった。
- ・福井大学（特に林先生の）の思いがこもった講演でとても楽しく拝聴できました。
- ・良かったと思います
- ・興味深い話ばかりでした
- ・楽しく学べ、印象に残る授業でした。ありがとうございます。
- ・めちゃめちゃ面白かったです！刺さります！林先生の講義もっとやって欲しいです！
- ・実践をもっとおもしろおかしく講義していただきました。ありがとうございました。
- ・林先生の講義はいつも楽しみにしています。ありがとうございます♪

- ・なんだか難しい事ユーモアを交えて言われていることが本当に大切に話等やすく親しみを持って感じる事ができました 気持ちが同じで一緒の方向を向いていられることが大切だと感じました
- ・実際の経験を聞けて学びになった。

⑩2日目の実習4・7についてお答えください



⑪実習4「医療設備の養生」についてお気づきの点がありましたら入力ください

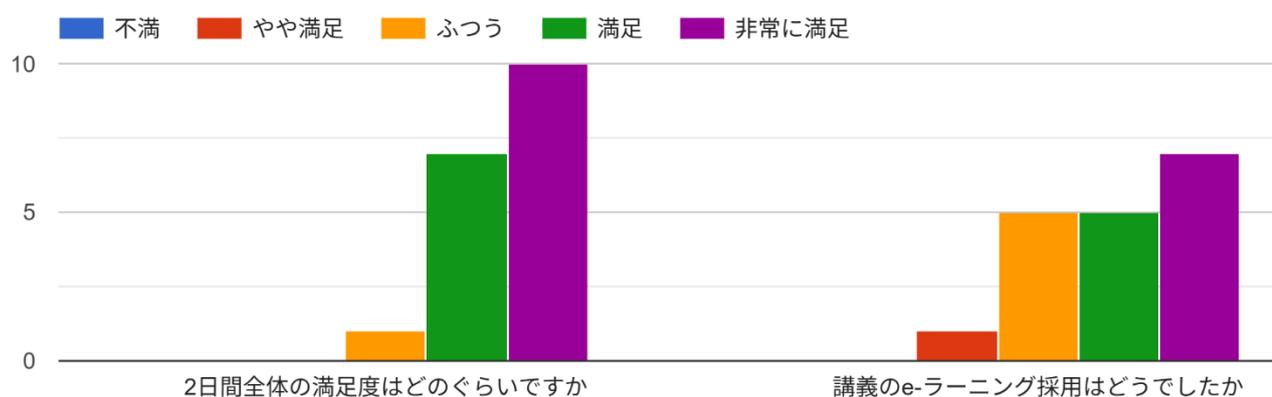
- ・特になし (他1名)
- ・時間や場所的に難しいとは思いますが、チームごとに自分たちが使う研修室の養生ができたならよりよかったですと思いました
- ・実際にME機器の養生をしてもらうのはいいと思いました。(やってあるセンターがほとんどだと思うので)
- ・短時間に一齐に準備だったので、全体の把握はできませんでしたが、写真などで振り返りたい
- ・実際にやってみることでいろいろ実感できたので、よかったです。講師の方々が事前にされたものとう違うかを振り返るポイントがあると、有り難かったです。
- ・10~11人でも30分で養生するのが大変なので、人員を集めなければいけないとおもいました。
- ・見本の養生が少し狭く感じたので、再調整が必要と感じました。
- ・再度勉強になりました。
- ・やってみて初めてわかる事が多々ありました
- ・それぞれがバラバラに養生するので、最後に養生の方法を解説していただける時間があると情報共有ができると思いました。
- ・養生は大変だが、大人数でやるとかなり早くできたので、本番も大縄ずつ必要だなーと思いました。
- ・実際にどのように養生すればよいか、具体的な物品とそれ使って養生できたことがとてもよかったです。
- ・久しぶりに養生をしました。理解されているあれだけの人数がいると心強いです。
- ・時間が短くもっと積極的に取り組めたらもっと良かったと思いました

⑫実習7「被ばく・汚染傷病者対応」についてお気づきの点がありましたら入力ください

- ・特になし (他1名)
- ・被ばくに気を取られて傷病者に対する声かけなど普段している看護を忘れてしまっていることに気が付いた 実際に体験することでより学びが深まりました
- ・人形じゃない研修は、リアリティが高まって凄くいいと思いました。
- ・不勉強で対応フローのアルゴリズムを把握できていなかったですが、記入している中でわかってきました。とても良くできており、復習をしておきたいと思います

- ・実際にやることで疑問点などが明確になりました。非常にためになりました。
- ・ホットゾーンに入るといつも周りがみえにくくなってしまうが、コールドからの声かけや途中でタイムアウトをすることで、落ち着いて対応ができました。
- ・少しテンパってしまい、難しさを感じました。2人の医師と優秀な看護師さんに助けられました。チームを組んだ皆さんに感謝しています。残念だったのは、せっかく2レーン用意したので、各組、2症例（ホット・コールドの役割及び、指導者をチェンジして）行ってもよかったのではないかと感じました。
- ・再度勉強になりました。条件をかなりキッチリ決めて、人で行ってもいいかと思えます。
- ・A、Bで反対側の班がしている間の待ってる時間が長いので、せっかく2部屋あるので、AもBも別れて2例したかった
- ・必須の経験だと思いました
- ・まず初めにステップを説明して頂けたら、嬉しいです。
- ・一例目がバタバタのまま始まったので、Aチームさん、今からやりますよ!はい!と、声かけしてもらえたらもっと良かった!
- ・トリアージで黄色や緑になる人がケースだったので、例えば演習中に赤になるなど状況が悪化するような想定付与があっても楽しいのかなと思いました。
- ・前田先生、森田先生のご指導で楽しく学べました。私はあまり力になれませんでした。今日のチームは良かったです。
- ・今度は自分がホットゾーンを体験してみたいと思いました

⑬研修全体についてお答えください



⑭本研修の感想をお聞かせください

- ・防護服や養生など実際に経験できたのでよい学びになった。また他の研修生と話し合いができたのでとても有意義でした。ありがとうございました。
- ・大変お世話になりました。先生方の思いが伝わるいい研修会でした。福島も福井の良い所を取り入れて頑張ります。
- ・2日間ありがとうございました。
- ・このような研修の開催には、多大な準備が必要で、受講生の何倍も大変だと思います。みなさま笑顔でもとても丁寧に対応されていて、本当に感謝致します。e-Learningは自分の好きなタイミングで学べるので良いのですが、研修前はピンと来ず、自動音声で眠気を誘います。研修を受けた後に一定期間利用させてもらえれば、「研修で言われてたのは、このことだね」と復習ができるかと思いました。2日間お世話になりました。これから寒い季節に向かっていきますので、みなさまどうぞご自愛ください。

- ・参加者の主体性を尊重し、自身で考え気づくことでただ一方的に教えられるよりも実践に近く、多くのことを学ぶことができたと感じております。ありがとうございました。
- ・あまり勉強したことがない分野だったので、ためになりました。eラーニングのスライドを、データで頂くことができるとありがたいです。2日間本当にありがとうございました。
- ・県内で研修ができ、また研修期間が短縮され受講しやすかったです。福井駅からの無料送迎バスもとても助かりました。素晴らしい施設で、多くの先生方に丁寧にご指導いただき、有意義な研修でした。ありがとうございました。
- ・演習が楽しかったため、事前学習もeラーニングではなく講義で聞いてみたかったです。とても楽しく学ぶことができました。いろんな方にぜひ福井の原子力研修に行ってみてと伝えたいです。
- ・この度は素晴らしい施設で研修を受講できたことは大変満足しています。また、福井駅への送迎にも感謝しています。e-learning 視聴に関しては、流してしてしまうので記憶に残らない感じがあります。また、対面の場合、講師による特徴が出るので受講に益があると思いますが、e-learning での聴講は次回以降遠慮したい感じです。技能維持研修含めて e-learning の利用や内容については再考が必要ではないでしょうか？ E-learning を採用するのであれば、重要な点の振り返りが必要と感じています。続いて、福井大学の今回の研修に関して、テキストの電子媒体配布は経費削減（？）かもしれませんが、紙媒体に必要な資料は、開催側が用意するべきと感じました。（マニュアルを紙媒体で用意しているのであれば、特に大変な作業ではないと思います。）各自で印刷すると、印刷スタイルが異なるので、情報共有・指摘などで混乱します。以上、とても素晴らしい施設での受講に感謝申し上げます。（もっと細かく見学したかったです。）
- ・研修期間短縮やランチョン形式の昼食は良かったです。
- ・楽しかったです！ また今後もよろしくお願いします！
- ・非常に為になる研修でした。準備していただきまして有り難うございました。
- ・経験者の方がいましたので、色々ご質問できた事が良かったです。低レベルな質問にも対応して頂きました。ありがとうございます。
- ・とてもわかりやすく、バージョンアップしてる!と思いました!次も楽しみにになりました!今年もありがとうございました!
- ・1.5日にまとめて頂いたようなので、自分の勉強不足はもろんなのですが、講義の内容が若干急ぎ足でコンパクトな部分があって理解が進まないところがありました。しかし、講師の方や一緒に参加した方などの人柄などもあり、心からとても楽しい研修になったと思います。一度受講しただけではなかなか実践するには難しいと思いますのでまた研修に参加したいと思います。この度はありがとうございました。
- ・e-learning + 2日研修で参加しやすくなりました。新しい会場で受講出来て楽しく参加出来ました。次はお手伝いが出来るように準備していきます。事務局、講師の皆さまありがとうございました♪
- ・日程は密で濃い内容であったついていけないと感じることもあったが流れを知ることができて参加した充実感自分なりにあった 一度ではなく繰り返し参加すること目的意識を持って参加することが大切 時間的には後半日くらい余裕を持って設定していただいても良かったかと思いました eラーニングを活用されたり整った素晴らしい施設で受講できたことまたわかりやすくユーモアを交えて研修して下さった関係者の皆様に感謝いたします
- ・わかりやすく、和やかな雰囲気に参加しやすかった。同じメンバーでのGWだったので最後の実習では仲間意識ができた。

以上

第2回中核人材研修（福井大学） R7. 10. 3~10. 4 振り返りのまとめ

	スタッフ振り返り・意見	オブザーバーご意見	話し合った内容・改善点
講義	<ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニングを視聴したか確認できるのか？受講生がどこまで理解できているのか分からない。プレテストの内容を実習に即したものに变更していきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プレテストの内容を検討する。 ・プレテストの活用方法を検討する。
実習 1	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストにない項目を実習で入れていて、戸惑った。体表面の汚染検査を行わずに終了しそうになり、安田先生から助言があり体表面汚染検査も実施することはできた。 ・講義が丁寧であり、やや時間が押し省略する部分もがあったことがやや気になった。 ・遮へいの実習で鉛を増やしていくと、値が増えていく精度エックス線が生じる場合があり、その時になぜか説明していく必要がある。もしくは実施方法を検討しても良いかもしれない。（ラジウムボール自体の線量が低いから） 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストが丁寧に誘導されていて進めやすかったです。RaポールやSr線源が用意されていて実習に適した強度でやりやすい。 ・体表面汚染検査時にレンジ設定（テキストp. 12で説明はしている）についても一度説明があるといいと思いました。また、患者の検査時には音を出さないようにする旨口頭で説明はありましたが、テキストにも記述があるといいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> >>テキストにない項目を・・・ →連携不足、事前に担当講師へ講義内容について伝える。 ・鉛遮蔽の件は現象が起きた時に補助講師が説明できるようにする。もしくは方法を検討する。 >>患者の体表面汚染検査の時は消音に・・・ →テキストに追記するか否かは安田先生と相談する。 受講生) 聞き取りにくかった →ハンドマイク購入？
実習 2	<ul style="list-style-type: none"> ・今回12~13人で実施したが、少し狭かった。しかし講義も実習も1つの場所で行った方が、時間もぎりぎりであり良かったと思う。但し、受講生24名にした場合は検討は必要だと思う。 ・履物を履き替えるのに時間を要したため、今後は開所式のような方法をとることも1つである。 ・自動扉をOFFにしていなかったため、講義の途中で空いてしまったため、次回からは電源をOFFにしようと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> >>クロックスへの履き替えに時間を要した→さほどタイムロスにはならないため、次回も履き替える。ピカピカは敷かない。 ・自動扉の電源はOFFとする。 受講生) 全員が体験できたら・・・ →時間が足りないため、現行のまま状況によりWBC研修を紹介する。
実習 3	<ul style="list-style-type: none"> ・脱装の時に机を動かしてトラテープの中に入ると思ったより狭く、講師の声も通らなかったため実施方法を改善した方が良いかもしれない。 ・狭くて講師の立ち位置に困った。 ・汚染検査の場所（研修1・2）と変更するのどうか検討が必要。 ・20人同時ではなく2クールで受講生の人数を半分にしても良いかもしれない。（実習3と実習6で実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・前方から人を見たときに名前がわからないので、額に色分けして貼ったテープの部分にも名前を記入したらよいのではないかと思います。 ・タイベックスを脱ぐときに床に引きずっていた受講生がおり、一声かけたほうがよいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習3と実習6を同時間に実施し、1回で受講する受講生の数を減らす。時間割の変更の検討。 ・1回の受講生人数が減少することで、細やかなアドバイスはできるようになると考えられる。 ・頭の部分に名前を記入する方法に統一するか？ →半透明の養生テープに職種、名前を書いて額部（フードorフェイスシールド）に貼付する方法もあることを紹介していく方向で検討する。
実習 4	<ul style="list-style-type: none"> ・見本が狭かったため、受講生もゾーニングを考えることなく、同じように狭く作成してしまっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が手当たり次第に養生を行っている印象がありました。何をどう養生すべきで、誰が担当するかなどを受講生同士で相談させてから行わせるようにしたらどうかと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初にスライドで養生のポイントを説明、受講生にゾーニングを考えてもらってから始める。 ・最後に受講生から工夫した点など簡単にコメントをもらって共有する。
実習 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレープが全部撥水のため、吸水と撥水のものを用意すると良いかもしれない。 ・除染の終了の判断の時に、講師が空間線量をバックグラウンドと説明しており誤った情報になってしまい受講生にも疑問が生じていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生に除染の方法を考えてもらいながら進行しており様々なアイデアが出ていた。 除染終了の判断の「BGの2-3倍～」の説明時に、受講生が除染室内にある空間線量率計($\mu\text{Sv/h}$)を見ていたため、汚染終了の判断にはGMサーベイメータで測定したBG(cpm)と比較するよう改めて説明する必要があると感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレープは撥水と吸水のものを見積もり出してもらっている。→まずはサンプルを請求し確認ご採用するか検討する。 ・講師にエリアモニターについて説明を行っておく必要がある。（全体会などで周知を行う） 「BGの2-3倍以上を汚染とする」 この場合のBGはGMサーベイメータの測定値

	スタッフ振り返り・意見	オブザーバーご意見	話し合った内容・改善点
実習6	デジタルのサーベイメーターを使用して見て、難しかったと感じた。アナログだと針の中央値をみるが、デジタルだと数字で分かりずらさを感じた。今後はデジタルを研修で使用を検討しているため、講師側も伝え方を検討していかなければならないと感じた。	マネキンが多く用意されていて、受講生4人に対して講師が1人つくので実習効果は高いと感じました。 直前の実習1で学習したことではあるが、初めて聞いた受講生には難しいため汚染検査の準備やサーベイの方法(距離・速度)に関してスライドで手厚く説明する時間があると実習に入りやすいと感じました。 ・デジタルディスプレイ式のGMサーベイメーターのもう少し詳しい操作説明があるといいと思いました。 ・検出器と身体表面の距離についてももう少し指導してもいいかと思いました。身体表面にぴったりくっつけていた受講生がいました。	・今後の研修におけるサーベイメーターの使用に関して、デジタルなのかアナログなのか両方なのか検討が必要。デジタルを使用する場合は、デジタル用のテキストを作成する必要がある。 →安田先生に相談する。 ・今回は実施前に説明を行ったが十分に伝わっておらず、全体会で補助講師に指導のポイントをレクチャーしその都度指導を実施してもらう。
実習7	・受講生の中で経験者の方がリーダー的に活動され、本来のコマンダーである受講生に意見を言いにくそうに雰囲気があり、もう少しそこに対して講師側が積極的に関与できたら良かった。 ・式典のために作成した養生でもあり、研修するには狭かったため、今後作成するときは広く作成すると良い。 ・自分たちが想定していないものを要求されることもあるため、ある程度潤沢にものを用意しておかないといけないと感じた。 ・コールドでのガウンとかシューズカバーを着用したことに対してのなどの振り返りもあって良かったかもしれない。 ・高度人材の方からアドバイスをもらい、検体の受け渡しに関して講師間ですり合わせができたことは良かった。	・サーベイ時に検出器と身体表面の距離が離れすぎてしまっていることがありました。 ・ホットゾーンからコールドゾーンへ試料を受け渡す際に袋表面の汚染検査をしていないようでした。 ・試料に貼るラベルの記入が十分になされていませんでした。 ・手袋の汚染の恐れがあった場合に付け替えを行っていましたが、体液で汚染されていない場合には、GMサーベイメータで計測して汚染がなければそのままいいという判断をしてもよいかと思いました(手袋着脱に時間がかかるので)。	・養生は実際受け入れることを想定して全体的に作成しておく。 ・物品を潤沢に用意しておく。 ・検体ラベルの記入方法を受けれが始まる前に講師から、説明を行う。また検体ラベルの項目についても検討が必要。(汚染あり、なしとか) →検体ラベルの見本を作ってホワイトボードに貼っておく。 ・汚染検査実施で手袋なしを除染の実習で伝えていくか? →実習7の流れの中で(全身汚染検査、除染が終わってから)手袋交換しようとしたときに「汚染検査してみましょう」と声かけをする。 ・試料の受け渡しに関してもは、 →症例を流す前にデモをおこなう。 (試料を受けた袋の表面汚染検査はおこなわないが、テキストには汚染検査をする必要が記載されており、ホットからコールドにもものを出すときは汚染検査が基本必要であることは告げる)
机上演習	・テーブルを3つ使用する配置で受講生の声が聞こえるか心配であった。今回は問題とならなかったが、今後はやや心配である。 ・喋れていない受講生もいたため、ひとグループ6人ぐらいが意見が言い合えて良いと思った。 ・ファシリテーターは1名~2名でも良いかもしれない。 ・場所を広々できるように検討しても良いかもしれない。 ・ファシリテーターが入り込んで、できる人に逆にしゃべらさない対応をすることも検討が必要。	・小淵先生と山田先生の進行が面白く、受講生も楽しそうに見えた。 全員で考えていく工夫がされていましたが、せっかく研修に適した広い部屋があるので、4班に分けて実施しても良いと感じた。 ・1班あたりの人数を減らすことで、班内での発言のハードルが下がりさらに多くの意見を集めることができると感じました。	・グループ分けを1グループ6人程にし、講師を各グループに入れて意見調整をしてもらうことを検討する。 →受講生の人数により、3グループ、4グループに分けることも検討する。 ・補助講師減らしてもよい。 ・机上演習の場所の検討が必要か?そのまま研修室5のままで良いか? ・設問に入る前にCSCAの説明を詳しくする。

	スタッフ振り返り・意見	オブザーバーご意見	話し合った内容・改善点
その他、研修全体を通しての感想	<ul style="list-style-type: none"> ・移動にどれぐらいかかるか心配していたが、受講生も迷うことなく大きな問題とならなかった。 ・ロッカーが開かないことのシュミレーションをしておいた方が良かった。 ・ロッカーの鍵を用意しておいた方が良かった。 ・どこで何をするか今後も色々検討ができると思う。 ・受講生同士の交流が無いと感じたが、交流していた良かった。 ・司会進行を実習担当にお願いできて、事務室での対応ができて良かった。 ・更衣室の鍵をフリーにすることも検討が必要か検討が必要。 ・テキストに関して、持ってくる様式が白黒や4分割だと縮小して持ってこられており、分かりずらそうだった。受講生からも四苦八苦したという意見があり検討が必要だと感じた。事前に資料を送るか送らないかの検討も必要。 ・可搬式のマイクなど必要なものを予算内で購入を検討する必要あり。 ・認知症の患者想定なども良いかもしれない。 ・受講生が取る写真についてどのようにしていくか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・綺麗な建物、研修に関して考えられた各部屋で受講生にとっても受講しやすい研修になっていると感じました。羨ましいです。 福井大学の中核人材研修に講師として参加させていただくことで、気が付くことも多く自施設での研修の質の向上に役立てていきたいと思ひます。ありがとうございました。 ・受講生の人数が多い中、講師の皆様はよく対応されていたと思ひます。 ・これまで私は、自身が所属するQSTで実施されている中核人材研修しか見たことがありませんでした。今回、オブザーバーとして参加させていただいた研修では、例えば実習7の症例2において、生身の方が患者役を務めるなど、QSTの研修にも取り入れるべきと思われる点をいくつか発見することができました。今後の研修の参考にさせていただきたいと思ひます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生のロッカーの鍵を受付けに置き対応できるようにする。 ・司会進行はこのまま、実習担当で良い。 ・更衣室の鍵はかける。 ・テキストに関して、講義e-ラーニングになったため、実習テキストのみであり、統一した資料で実習を方が分かりやすい可能性があり実習テキストは全て印刷とするか？ →実習中にテキストへ記入する実習1と2は印刷して配布したほうがよいと考えるが、ミーティングにかけて決める。 ・写真撮影はどうするか？許可としSNSに出さないなどの注意喚起とするか？ →最初に受講生に写真撮影の許可を得られた場合、写真撮影可とするが、病院内での使用（報告書や持ち帰り研修など）のみとし、ネット掲載は不可であることを研修のガイダンスで伝える。